

# 蒲郡市GIGAスクール構想

## 1人1台タブレット端末の活用について

### 教師編



### 【目的】

児童生徒の学習意欲の向上と、新しい時代に必要となる資質・能力「学びに向かう力」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の習得を目指し、児童生徒が「自ら考え主体的に行動できる力」を身に付けるためのツールとして活用すること。

「学校における1人1台端末環境」  
公式YouTube動画  
文部科学省/mextchanceより



このマークの画像上でクリックすると、動画を再生したり、関連資料を見たりすることができます。

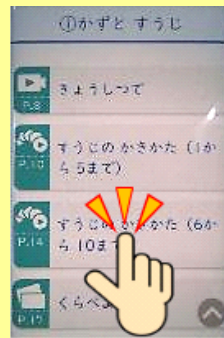


「学校における1人1台端末環境」を具体的にイメージすることができます。そして、1人1台タブレット端末環境での新しい学びにより、学校教育の姿をどう変えていくのか。一緒に考えていきましょう。

## タブレット端末の活用に向けたステップ

### 【ステップ1】教員が慣れる

- タブレット端末で教科書のQRコードの読み込みや画像等を大型提示装置（テレビやプロジェクター等）へ映し出す。アプリケーションの起動及び操作方法の確認等。



### 【ステップ2】児童生徒が慣れる

- 写真や動画の撮影をしたり、QRコードを読み込んだりする。
- ドリル学習に取り組む。

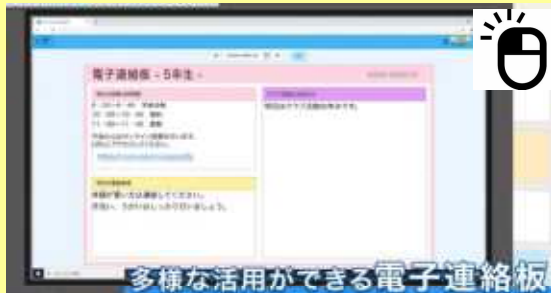
朝の学習や授業、家庭学習等、個々のペースや能力に合わせて学習に取り組ませることができます。



### 【ステップ3】教員と児童生徒、児童生徒同士のやりとり①

- ・連絡事項（学習予定や宿題等）について、児童生徒の端末に送信しておくことで、朝の会や帰りの会等の時間に確認できるようにする。
- ・課題の提示、配付、提出、回収などを行う。

連絡事項等の共有（SKY MENU Cloud） 毎日の健康観察に活用（コラボノート）



### 【ステップ4】教員と児童生徒、児童生徒同士のやりとり②

- ・協働学習ツール等を活用し、児童生徒同士の考えを交流する。

（グループ学習等）

コラボノート



SKY MENU Cloud



### 【ステップ5】教員と児童生徒、児童生徒同士のやりとり③

- ・Web会議システムと各種教材、ツールを併用して、双方向型の授業を展開する。（例えば、他校の児童生徒や海外の児童生徒、企業等とかわる授業）

カンボジアの中学生と交流



（Skypeの活用）

オーストラリアの生徒と交流



（ZOOMの活用）